

株式会社ブロードバンドセキュリティ
2021年6月期 第2四半期決算説明資料



2021年2月12日

2021年6月期 第2四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2021年6月期 第2四半期 業績サマリー



トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

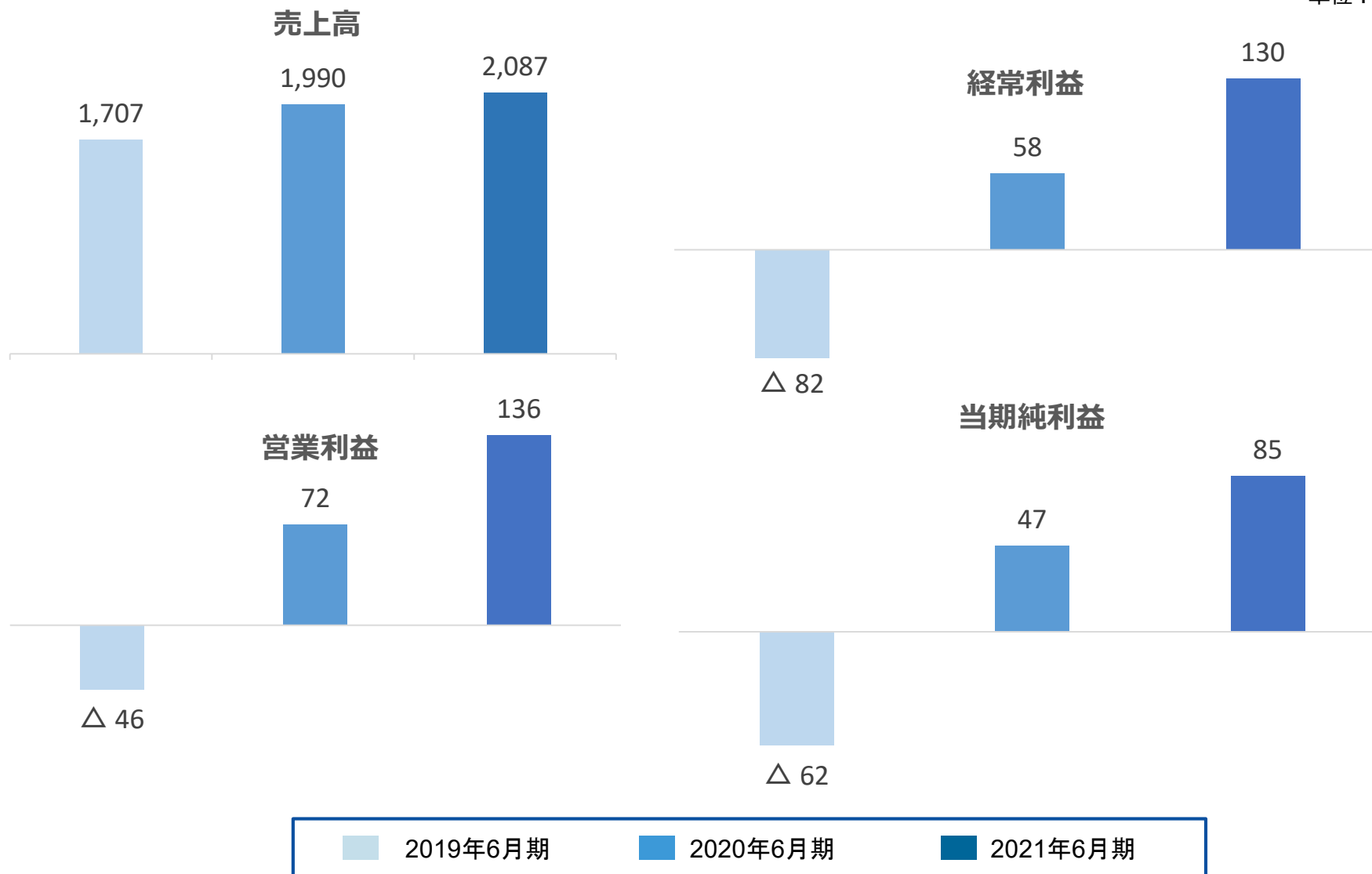
売上高は2Qとして過去最高を更新 営業利益は前年比+86.8%の大幅増益

単位：百万円

科目	2019年6月期 2Q累計実績	2020年6月期 2Q累計実績	2021年6月期 2Q累計実績	前年同期比		科目別増減ポイント
				増減額	増減率	
売上高	1,707	1,990	2,087	+97	+4.9%	全ての売上区分で前年比増収
セキュリティ監査・コンサル	358	301	342	+40	+13.5%	クレジットカード業界、一般企業向けとも順調
脆弱性診断	466	653	659	+6	+1.0%	一部案件が下期にずれ込むも、ほぼ計画通り。
情報漏えいIT対策	882	1,034	1,085	+50	+4.9%	安定売上増加傾向が継続。 左記売上のうち安定売上比率は77%（前年同期74.9%）
売上原価	1,385	1,482	1,495	+13	+0.9%	SIEM、EDR等販売の増加による仕入増等+49 償却費、旅費等の間接原価減▲35
売上総利益	322	508	592	+84	+16.6%	
販売費及び一般管理費	368	435	456	+21	+4.8%	人件費/クラウド利用料増 採用手数料/旅費減
営業利益	△ 46	72	136	+63	+86.8%	
売上高営業利益率	-	3.7%	6.5%	+2.8P	+78.1%	
経常利益	△ 82	58	130	+72	+124.8%	営業外収益（還付消費税等）+3 営業外費用（借入残高減少による利息減少、為替差損）
売上高経常利益率	-	2.9%	6.3%	+3.4P	+114.3%	
当期純利益	△ 62	47	85	+37	+79.5%	増益による課税所得増等+34

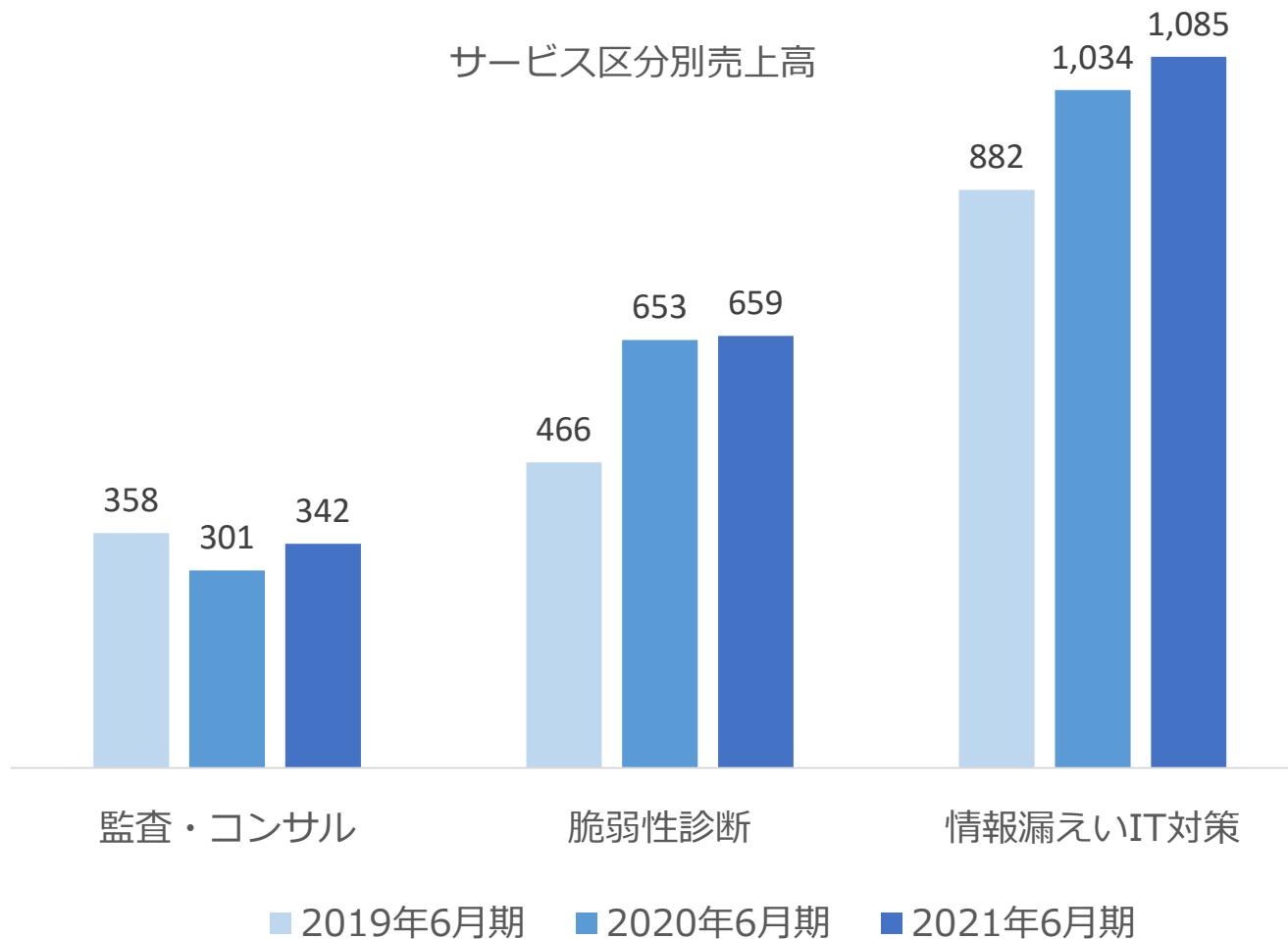
売上高および利益推移

単位：百万円



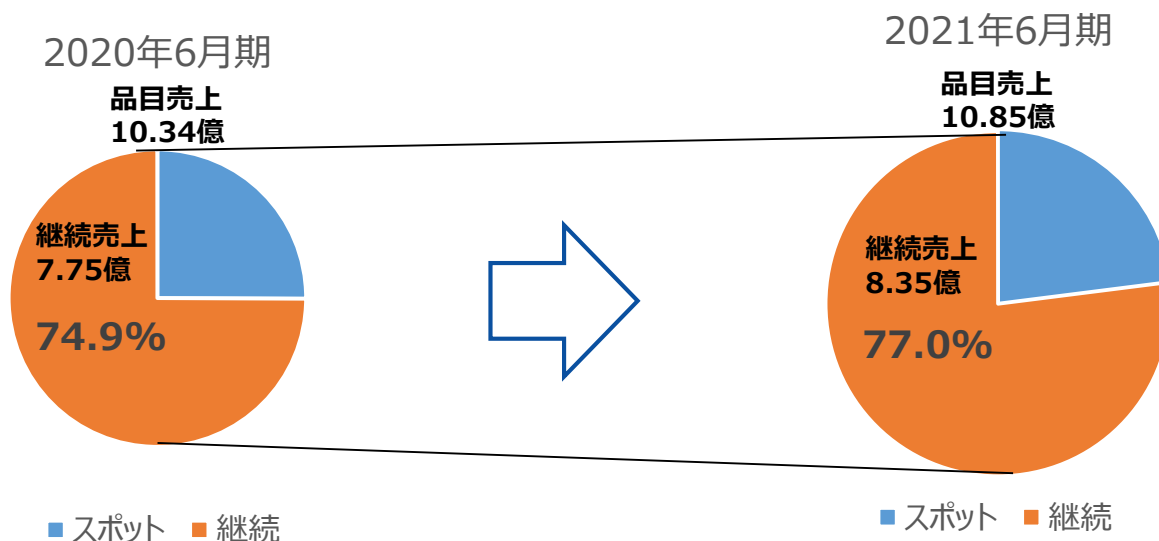
全ての売上高区分で前年同期を上回る

単位：百万円



継続品目の積み上げが、今後の売上に寄与

情報漏えいIT対策サービスは、増収かつ継続品目の比率が上昇
= 下半期および来期に向けた収益基盤が拡大

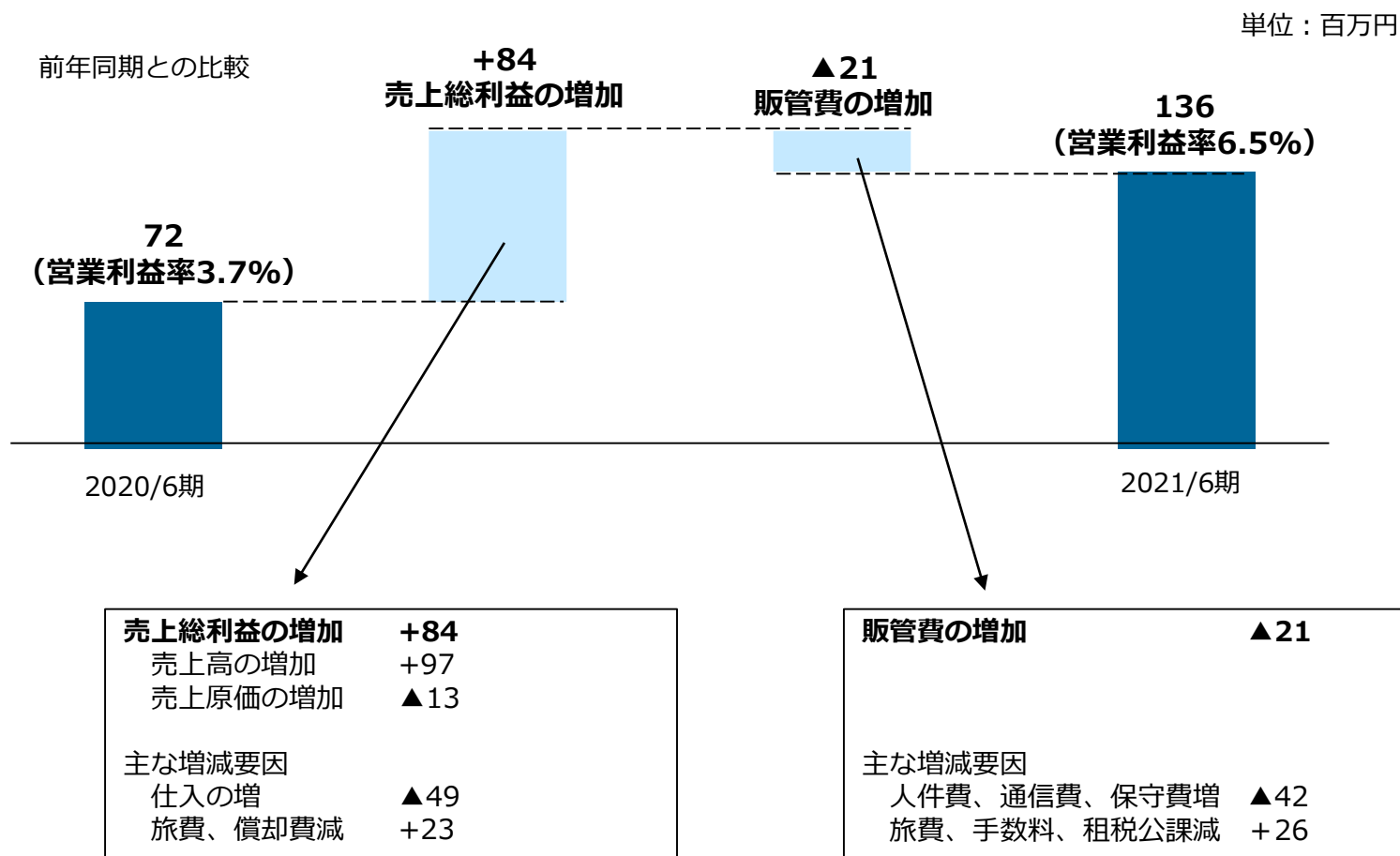


情報漏えいIT対策サービスの主なサービス品目

継続 : SOC (24/365監視)、メール、マルウェア検知、EDR等
スポット : 緊急対応 (デジタルフォレンジック)、標的型攻撃メール訓練等

営業利益の増減要因

売上原価および販管費は微増、営業利益率が向上



コロナ禍に対応し、営業スタイルを変更

既存顧客や見込み顧客に対して、ウェビナーによりタイムリーな情報提供。

訪問営業が難しい状況下、セキュリティのニーズは高いことを実感。

The screenshot shows a webinar interface. On the left, a 'Topics' list includes:

- サイバー攻撃者はどのように情報収集しているのか
- 直近2ヶ月の攻撃事例
- テレワーク環境は狙われている
- ソーシャルエンジニアリングの脅威

 The main content area displays a slide titled 'テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項' (Considerations for Information Security in Telework). The slide features an image of a person working at a computer and a globe. At the bottom of the slide, it says '2020年10月29日 株式会社ブロードバンドセキュリティ' (October 29, 2020 BroadBand Security, Inc.).

今期開催したウェビナー（共催含む）

- 2021年1月 「「今、やるべき」情報セキュリティ対策」
- 2021年1月 「「インシデント事例から見る」クラウド利用におけるセキュリティリスクと重要チェックポイント」
- 2021年1月 「SWIFT CSCF 2021に基づく外部評価、内部評価支援」
- 2020年12月 「今、求められているサプライチェーンのセキュリティ対策とは」
- 2020年12月 「年々増加するサイバー攻撃をどう防ぐ？ 手口から学ぶサイバー攻撃への対応策解説セミナー」
- 2020年12月 「コンパクトで実行性のあるCSIRT構築の秘訣について」
- 2020年12月 「SWIFT 外部評価サービスと最新情報」
- 2020年11月 「SWIFT 外部評価サービスと最新情報」
- 2020年11月 「SQAT@ ペネトレーションテスト デモンストレーション」
- 2020年11月 「Web 改ざんによる情報流出の危険性について」
- 2020年11月 「スマートファクトリー、高まるリスクに「5S」で考えるセキュリティ対策とは」
- 2020年11月 「マルウェアのリスクを可視化するSQAT@APTデモ」
- 2020年10月 「脆弱性管理、それでいいの？ 500人調査から見えること 杉浦 隆幸 氏×齊藤 義人 オンライン対談」
- 2020年10月 「テレワークにおけるセキュリティの考慮事項」
- 2020年10月 「テレワークにおけるPCI DSS観点での課題と対応事例」
- 2020年10月 「500人に聞きました「あなたの会社の脆弱性管理・パッチ管理は大丈夫ですか？」」
- 2020年10月 「SWIFT 2021年以降の独立した評価の必須化について」
- 2020年10月 「PCI 3DS 加盟店からイシューへのリアビリティシフト」
- 2020年10月 「PCI P2PEソリューションプロバイダになるために」
- 2020年10月 「ゼロトラストが変えるリモートワークの常識！ 国内でもすでに始まったゼロトラスト導入を実現する方法とは？」
- 2020年9月 「PCI DSS 準拠における AWS の注意点（要件1、2）」
- 2020年9月 「テレワークにおけるPCI DSS観点での課題と対応事例」
- 2020年9月 「テレワーク時代取るべきセキュリティ対策」（株式会社JSOLとの共催）
- 2020年8月 「産業制御システムに求められるセキュリティ対策とは？」
- 2020年8月 「コールセンター事業者が知るべきPCI DSS 準拠のポイント」
- 2020年8月 「PCI DSS 準拠における AWS の注意点」
- 2020年8月 「PCI DSS 準拠における AWS の注意点」
- 2020年8月 「3密を避けた PCI DSS 準拠オフィスのために」
- 2020年8月 「テレワーク時代のセキュリティ情報の集め方」
- 2020年8月 「コールセンター事業者が知るべきPCI DSS 準拠のポイント」
- 2020年8月 「テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項について」
- 2020年7月 「コールセンター事業者が知るべきPCI DSS 準拠のポイント」
- 2020年7月 「PCI DSS for the call center PCI DSS for the call center」
- 2020年7月 「テレワークにおける情報セキュリティ上の考慮事項について」

2021年6月期予想（2020年7月14日発表内容から変更なし）

1. 売上高増加率は前期実績（+13.8%）より保守的に計画（+9.7%）
2. 全ての売上区分において増収を計画
3. 一人当たり営業利益の向上を目指し、将来的に売上高営業利益率10%へ

単位：百万円

科目	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 通期予想	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	4,176	4,580	404	+9.7%
セキュリティ監査・コンサル	681	810	129	+18.9%
脆弱性診断	1,402	1,575	173	+12.3%
情報漏えいIT対策	2,092	2,195	103	+4.9%
売上原価	2,947	3,171	224	+7.6%
販売費及び一般管理費	886	1,008	122	+13.8%
営業利益	342	400	58	+16.9%
売上高営業利益率	8.2%	8.7%	+0.5p	
経常利益	314	381	67	+21.3%
売上高経常利益率	7.5%	8.3%	+0.8p	
当期純利益	218	296	78	+35.7%

2021年6月期 第2四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

トピックスのご紹介

上半期の主なニュースリリース

7月	「SQAT®ペネトレーションテスト」の提供開始			脆弱性診断
8月	「クラウドセキュリティ設定診断サービス」の提供を開始			脆弱性診断
8月	「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」の提供を開始			監査・コンサル
8月	「2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable」日本企業初選出			監査・コンサル
9月	日本企業として初めて、SWIFT CSPアセスメントプロバイダに正式登録			監査・コンサル
9月	大日本印刷株式会社と資本業務提携	監査・コンサル	情報えいIT	脆弱性診断
10月	タイでの合併会社が、クレジットカードセキュリティの評価企業「QSAC」認定			監査・コンサル
10月	株式会社フーバーブレインと業務提携			監査・コンサル
11月	株式会社テリロジー、VNCS-Gの3社間で事業協力	監査・コンサル		情報えいIT
11月	「Emotet」に対する総合的支援サービスを提供	脆弱性診断		情報えいIT
12月	総合的ランサムウェア対策のご提供を開始			脆弱性診断

当期のトピックのご紹介

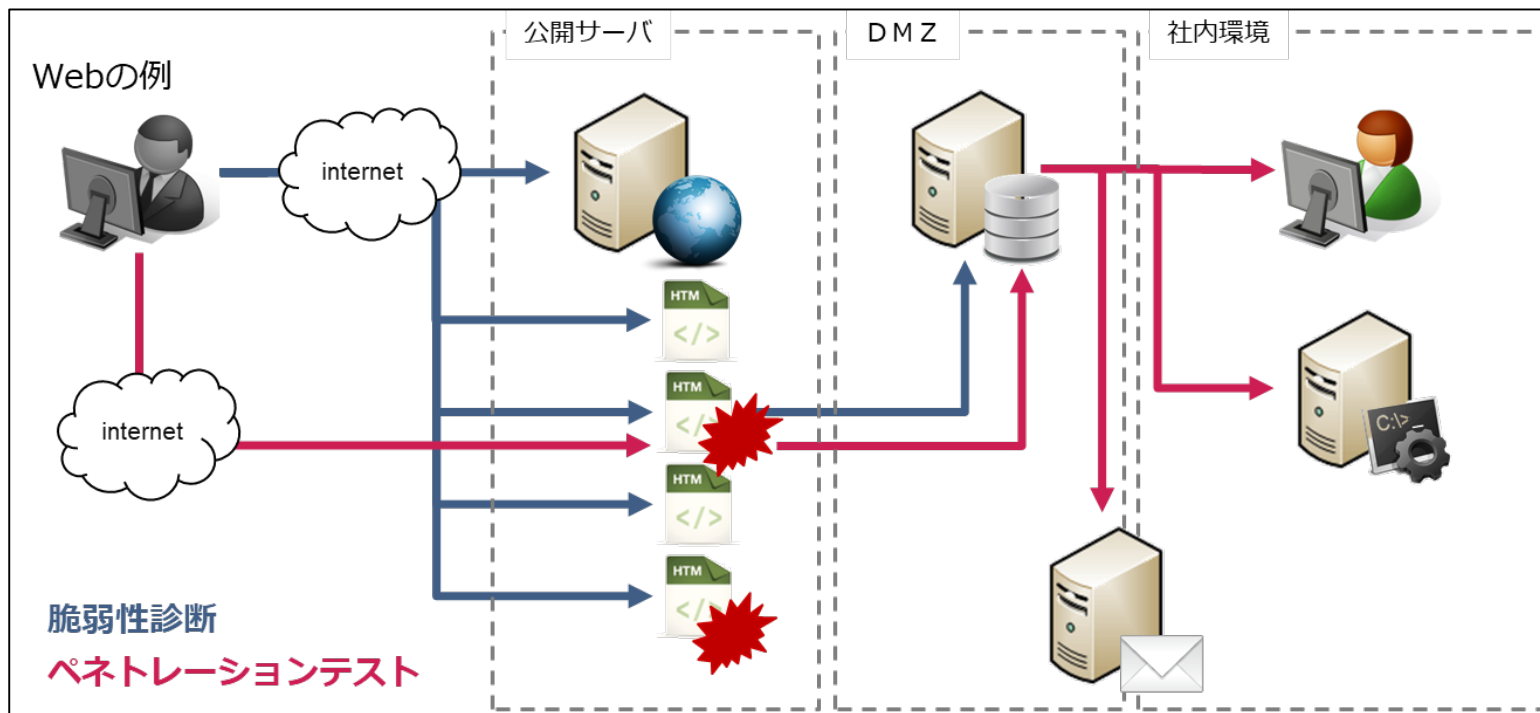
2020/7

「SQAT®ペネトレーションテスト※」の提供開始

脆弱性診断

多様なシナリオによる疑似攻撃でシステムを包括的に診断し、被害を最小化

※事前の綿密な調査により特定した「システムのより弱い個所」を起点としてシナリオベースの疑似攻撃を仕掛け、システムの堅牢性を確認する検査。



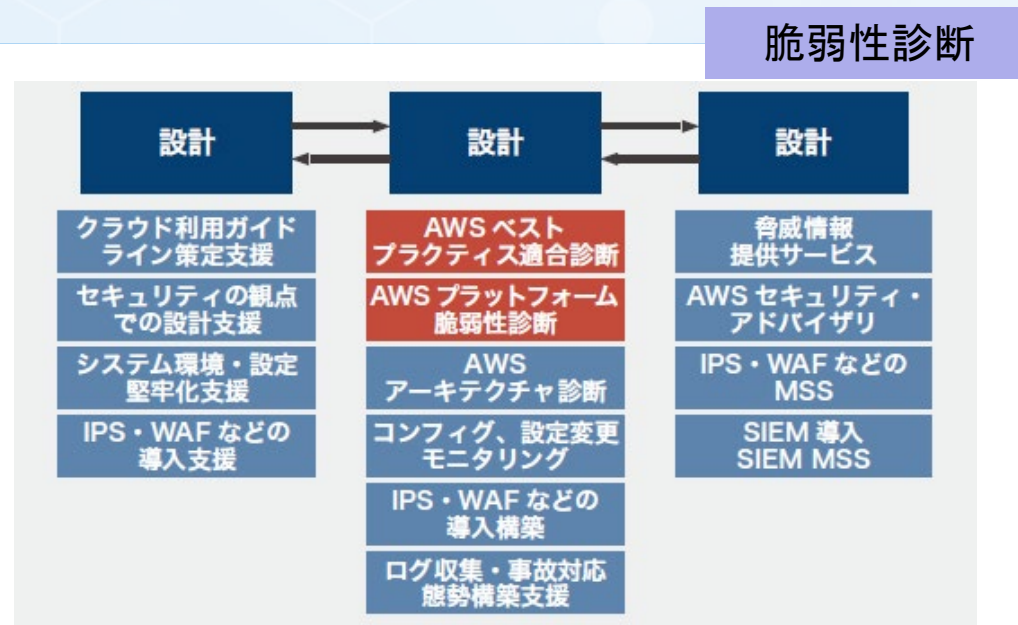
当期のトピックスのご紹介

2020/8

「クラウドセキュリティ設定診断サービス」の提供を開始

従来提供していたAmazon Web Services向けのセキュリティ設定診断サービスに、Microsoft Azure、Google Cloud Platformを加える。

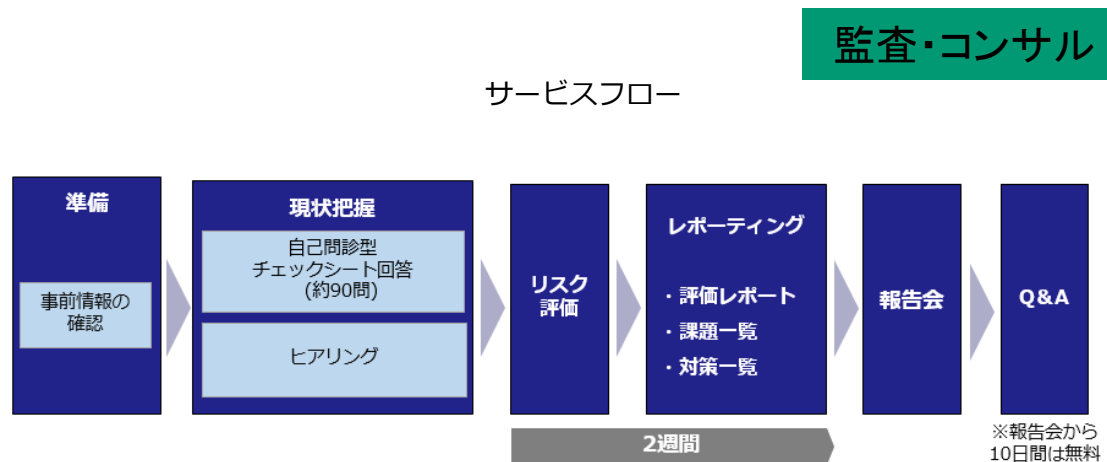
独自のチェック項目で、マルチクラウド環境をカバー



2020/8

「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」の提供を開始

テレワークに特化した迅速なアセスメントで新しいビジネス様式に対応



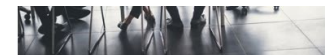
当期のトピックスのご紹介

2020/8

監査・コンサル

国際的なクレジットカード業界のセキュリティ基準団体の円卓会議 「2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable」 に日本企業として初めて選出

concerns relating to assessments and assessor programs, representing the perspectives of the PCI assessor community.



Read more about the program's successful inaugural run and what can be expected from the GEAR in the future [here](#).

GEARとして選出された背景※

- ・2008年からQSA（認定評価機関）としての長期にわたる活動（要件7年以上）
- ・日本、韓国、タイの3か国での活動実績
- ・PCI P2PE、PCI 3DSといった複数基準の評価機関認定

2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable



※当社推定

https://www.pcisecuritystandards.org/get_involved/global_executive_assessor_roundtable

2020/9

監査・コンサル

国際送金ネットワークSWIFT ユーザへの評価・コンサルティングサービスの提供を開始 ～日本企業として初めて、SWIFT CSPアセスメントプロバイダに正式登録～

SWIFT は2020年より、国際送金ネットワークSWIFT に接続するユーザに、内部評価もしくは外部評価を年次で受けることを要求しています。

SWIFT の外部評価を実施するためには、評価会社が過去12カ月以内にサイバーセキュリティの運用評価を実施していることが必須です。

この評価は、PCI DSS、ISO 27001、NIST SP 800-53、NIST サイバーセキュリティフレームワーク、または、CSP/CSCF などの業界標準に従って実施されていなければなりません。

かつ、評価人が、PCI DSS 評価人であるQSA (*4) や、公認情報システム監査人 (CISA) 、公認情報セキュリティマネジャー (CISM) などの資格を一つ以上保持することが必須です。

BBSec は、PCI DSS 監査での豊富な見識を有するQSAをはじめ、これらの要件を満たす評価人を29名（日本17名、韓国9名、タイ3名）有しており、APAC（アジア太平洋）地域へ広く評価サービスを展開して参ります。

これまでのセキュリティ監査、コンサルティングで培った知見に基づいて、SWIFT ユーザ各社様に、高品質な評価・コンサルティングサービスを提供いたします。

当期のトピックスのご紹介

監査・コンサル

情報えいIT

脆弱性診断

2020/9

大日本印刷株式会社と、資本業務提携

～脆弱性診断、コンサルティング、専門人材育成事業等で連携～

主な業務提携の概要

脆弱性診断と セキュリティコンサル

両社の「技術力」と「営業力」を組み合わせ、テレワークなどにより新たに導入したクラウドやモバイル環境の脆弱性対策のコンサルティングやサービスを提供

セキュリティ人材育成

情報セキュリティに関する高度な技術で、サイバー攻撃に対応するCSIRT※などのセキュリティ人材の育成事業、コロナ対策としてのオンライン講座など

セキュリティラボ

国内外のセキュリティ対策に関する製品・サービスの調査と評価、グローバルなセキュリティインシデント情報や、その他の情報の収集と分析等を行うラボを開設

今後の展開

今回の提携による効果が順調に推移していく場合、引き続きさらなる資本業務提携の強化も検討

※ CSIRT : Computer Security Incident Response Team

2020/10

タイでの合弁会社※が、クレジットカードセキュリティの評価企業「QSAC」認定 ～アジアNo.1のクレジットカードセキュリティプロバイダを目指して～

背景

タイを含むAPAC（アジア太平洋）エリアにおいて、キャッシュレスセキュリティが
各国政府の重要施策に



BBSecTHの提供予定サービス

- 1) PCI DSS準拠のためのコンサルティング
- 2) 準拠証明書を発行するためのオンサイト評価
- 3) PCI DSSとは直接関係のない企業に対するテクニカルセキュリティ評価
- 4) PCI DSS準拠および維持に必要な脆弱性診断や日々のログ監視等の各種サービス
- 5) P2PE, PCI 3DS等 PCI DSS関連基準のコンサルティングおよび評価
- 6) PCI DSSとは直接関係のない企業に対する脆弱性診断等のリモート（英文）サービス

※ 「BBSecTH」 BroadBand Security Assessment (Thailand) Company Limited

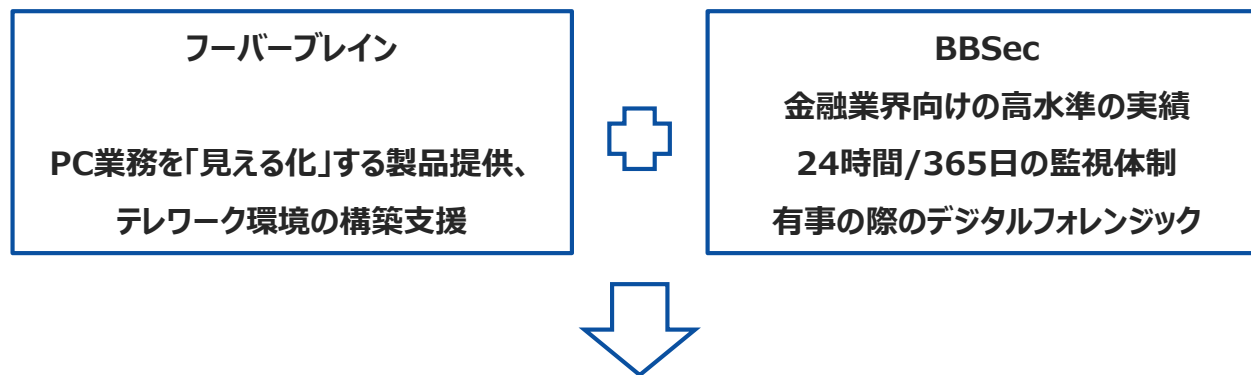
2020/10

株式会社フーバーブレインとの業務提携

～総合的なセキュリティサービスの提供や、テレワーク環境構築に向けて～

業務提携の背景

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が治らない中、テレワークの実施を迫られる企業が拡大。短期間でテレワーク環境を構築/ 運用し、情報セキュリティに関する懸念の声が増大。



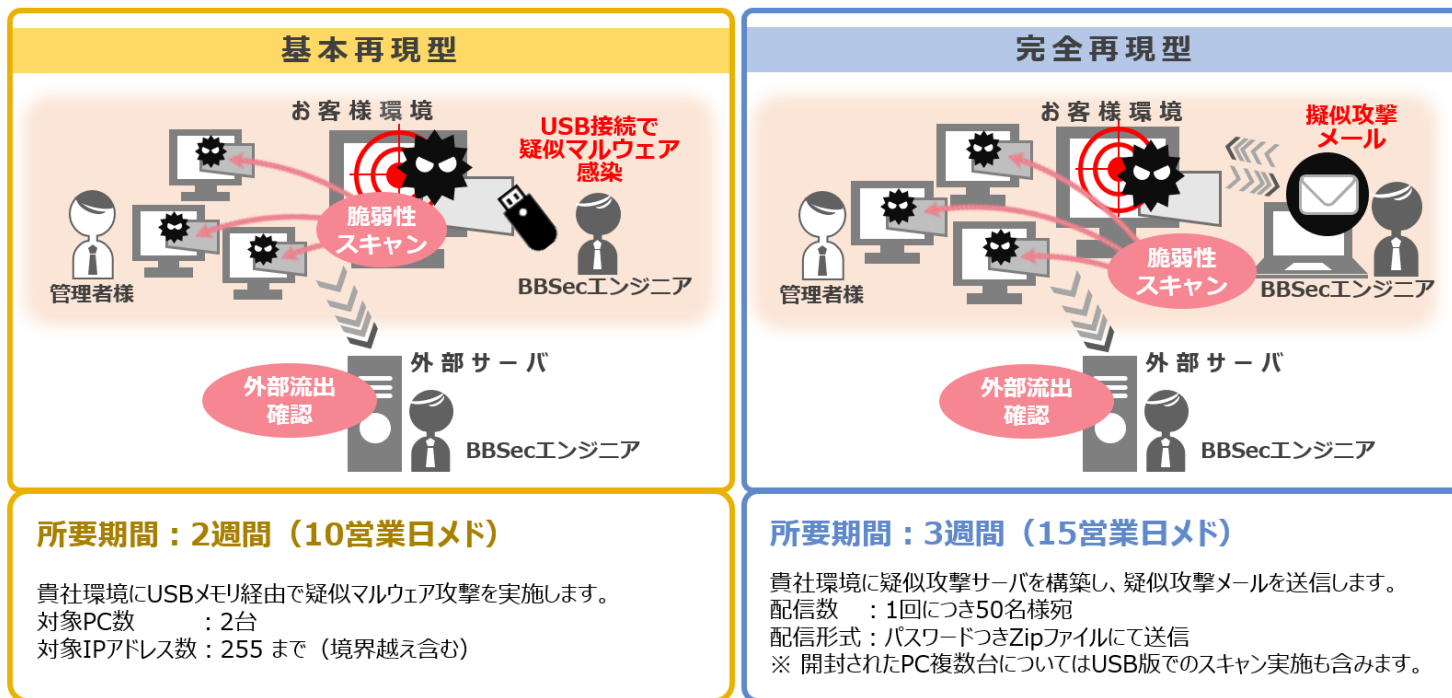
- 1) 大手SIerを通じた総合的なセキュリティサービスの提供
- 2) セキュリティレベルの高いテレワーク環境の構築支援
- 3) セキュリティ技術全般に関する相談窓口の設置

2020/12

ランサムウェア感染リスク可視化、サブドメイン乗っ取り対策、ネットワークスキャンなどをパッケージ

ランサムウェア感染リスク可視化サービス

お客様の社内環境にあるPCがランサムウェアに感染したと想定し、疑似マルウェアによる攻撃を実施します。疑似マルウェアにより収集した周辺情報に対して脆弱性スキャンを実施し、脆弱性および不要なポート/サービスを検出するとともに、データ外部流出の可能性について検証します。感染したPCより接続可能な他のクライアントPCおよびサーバにどれほどランサムウェアの影響が及ぶか、実態に即した確認ができます。



2021年6月期 第2四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて



会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

2億9,246万円

決算期

6月

株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場
上場日：2018年9月26日
株式コード：4398

従業員数

205名 (2020年6月末現在、派遣、業務委託等を除く)

代表者

代表取締役 最高経営責任者 (CEO) 持塚 朗
代表取締役 最高執行責任者 (COO) 滝澤 貴志

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
海外：韓国支店
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

関連会社

BroadBandSecurity Assessment(Thailand)
Company Limited
(タイ、バンコク)

(2020年12月現在)

ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する セキュリティサービスプロバイダー

BBSec は、悪意ある攻撃から組織の情報資産を守り、組織がその情報資産をもとに適正に成長していくことを支援するセキュリティ専門事業者です。対策に欠かせないIT / 組織両視点からのサービスは、お客様の規模や対策の推進状況にかかわらず、今必要とする最適な「答え」をご提供いたします。

セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示いたします。

脆弱性診断

お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューを取り揃えております。

情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制で支援いたします。



セキュリティ監査・コンサルティングサービス

お客様システムの可視化、課題抽出、課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織双方を対象とした各種サービスは、企業のセキュリティにおける盲点を発見し、実現可能な解決策をご提示いたします。



コンサルティング

- セキュリティ・アドバイザー
- CSIRT 構築 / 運用支援
- Shift Left コンサルティング
- セキュリティログ分析 / 活用支援



アセスメント

- リスクアセスメント
- 産業用制御システム向けリスクアセスメント
- QR コード決済事業者向けリスクアセスメント
- 自己問診型セキュリティリスクアセスメント
- テレワーク環境情報リスクアセスメント



設定評価

- ネットワーク機器設定評価
- 無線LAN 調査
- データベース設定評価
- 感染端末調査



教育

- 標的型攻撃メール訓練



セキュリティ認証取得

- PCI 準拠支援 / オンサイト評価
- 日々ログ
- クレジットカード情報非保持化支援
- PCI 準拠維持支援
- SAQ 準拠維持支援
- PCI ウォークスルー



提供サービス

脆弱性診断サービス

お客様システムに潜む脆弱性を検証するサービスです。新規開発時だけでなく、運用中のアプリケーションにも定期的実施すべきプログラムです。



脆弱性診断

- WEBアプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- ソースコード診断
- ハイブリッド診断
- 標的型攻撃リスク診断
- ペネトレーションテスト



脆弱性診断保守

- デイリー自動脆弱性診断
- WEBサイトコンテンツ改ざん検知
- ソースコード自動診断



クラウドセキュリティ

- クラウドセキュリティ設定診断
- パブリッククラウド向け診断

情報漏えいIT対策サービス

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用をセキュリティのプロフェッショナルが**24時間・365日**体制で支援いたします。



セキュリティ運用支援

- マネージドセキュリティ
- WAF運用
- IDS/IPS、UTM、ファイアウォール運用
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援
- 脆弱性情報提供
- セキュアメール



緊急対応

- 緊急コンタクトセンター
- デジタルフォレンジック



当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

ニュートラル



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

技術対応力



経験、知識、情報網を核とした
最先端の技術対応力

信頼性



サービスご利用の高いリピート率が
示す高信頼性

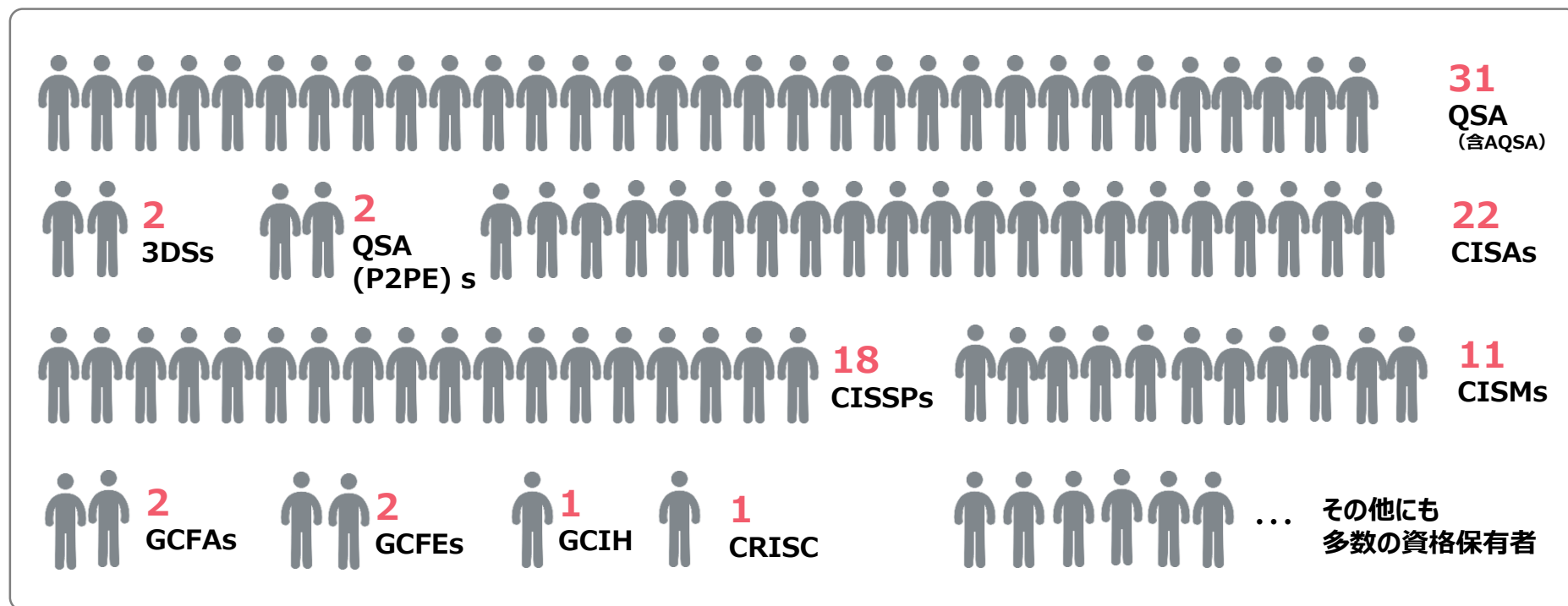
ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

高い技術対応力

セキュリティの公的資格をもつ技術者が多数在籍。
多角的にお客様のセキュリティ対策を検証・支援いたします。



QSA: Qualified Security Assessor
AQSA: Associate Qualified Security Assessor
QSA(P2PE): QSA (Point-to-Point Encryption)
3DS: 3-D Secure Assessor
認証機関:PCI Security Standards Council

CISSP: Certified Information Systems Security Professional
認証機関:International Information Systems Security Certification Consortium (ISC)²

GCFAs: Certified Forensic Analyst
GCIH: Certified Incident Handler
GCFE: Certified Forensic Examiner
認証機関:Global Information Assurance Certification

CISA: Certified Information Systems Auditor
CISM: Certified Information Security Manager
CRISC: Certified in Risk and Information Systems Control
認証機関:Information Systems Audit and Control Association (ISACA)

2020年10月現在

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

お問い合わせ ir@bbsec.co.jp

<https://www.bbsec.co.jp/ir/>